

会員だより

優雅な花の名前の

二人静

(ふたりしずか)

昨年(2023年)、7月

に知り合いが、植木鉢に小さな花の苗を植えて持ってきたくれました。

二人静の花が植えてありました。

一つは「肥後すみれ」、もう一つは「二人静(ふたりしずか)」と札がかかっていました。



二人静
ふたりしずか

「肥後すみれ」は、二ヶ月程前に可愛い花が咲きました。

そして「二人静(ふたりしずか)」が、今月(4月)中ごろに、咲きはじめました。

何と優雅な花の名前でしょうか。

静(しずか)の名前がついた花に、一人静(ひとりしずか)と二人静(ふたりしずか)がある様です。

平安時代末期に、平安の三美女として称される「静御前(しずかごぜん)」がいました。

一人静(ひとりしずか)は春先、4枚の葉を突き抜けて、白いブラシ状のとても変わった花を1本咲かせるようです。

名前は、源義経が好んだ「静御前」という女性が一人で舞っている姿に見立てたことから名前がついた様です。



一人静

二人静(ふたりしずか)の花の名前は、静御前は源義経の側室で、吉野山で源頼朝に捕らえら

令和6年(2024年)度「VG 槻輪」総会の報告

- 主議題 ○令和5年度活動実績の承認
- 令和6年度新役員選出
- 令和6年度活動計画(案)の審議

VG 槻輪の総会は、令和6年4月18日(木)午前10時30分から約1時間、茨木市役所前の「おにくる」において開催され、議長委任4名を除く13名全員が参加致しました。

先ず昨年度(令和5年度)の活動実績の報告を大岡会長が行ない、同年度の会計報告、会計監査報告を各役員からそれぞれ説明があり、報告どおり了承されました。

次に新役員選出について立候補者がいないので、議長より副会長に明見容子氏、会計に中原マサ子氏、監査に山口幸子氏がそれぞれ選出され、会長に大岡氏が留任で決まりました。

昨年度は不在でした書記に、奥田美智子氏が選出され全員決定いたしました。

次に新年度(令和6年度)の活動計画として、本年度は、会創設20周年記念の年なので記念事業の提案と記念事業の協力方要請がありました。

以上総会案件が一通り終了し、「おにくる」の総会会場を後に、懇親会場三府寿司へと移りました。

懇親会場では、なごやかな雰囲気の中で出された料理を戴き、すべての予定が終了しました。

記：松政 徳次郎



「おにくる」での総会



三府寿司での親睦昼食会

昨年(令和5年)の10月号に、見直そう「もつたいたい」のタイトルの本を読んで感銘を受けた。今や世界でも注目されるようになった言葉、「MOTTAINAI(もったいない)」という、日本語特有の表現の言葉が、外国語にはこの言葉の適切な言葉が無いので「MOTTAINAI」がそのまま使われ、世界に広めようという活動が生まれた。この活動の提唱者は、ケニア出身の環境保護

記：大岡成一

活動家の「ワンガリ・マータイさん(1940~2011年・ノーベル平和賞受賞者)です。この言葉に注目したのは、3R+リス・ペクト(尊敬)の気持ちまでも言い表しているからだというのです。日本の各地には、針供養・筆供養・包丁供養などが有ります。役目を終えた道具を供養する習慣です。そして私達の身の回りにある物は元をただせば「自然から与えられたもの」です。その物が私達の手元に来るまでには、物をつくる方・加工する方・流通などに携わった多くの人の苦勞があるのです。食品という「物」についても農家の方や漁業の方の苦勞や料理をする方々などいるのです。こうした物の背後にある様々な恩恵を認識し、日々の努力をすることが、日々それらの恩恵を受けている者として認識して物を大切にしましょう。

見直そう

「もつたいたい」

僕がよく行く、病院の待合室に「道徳を考える月刊誌」が置いてあります。

記：大岡 津奈子

れ、鎌倉の鶴岡八幡宮で「義経を慕う歌を歌いながら一人で舞を舞った能楽」の静御前とその亡霊の舞姿にたとえてつけられたとの事です。

活動家の「ワンガリ・マータイさん(1940~2011年・ノーベル平和賞受賞者)です。この言葉に注目したのは、3R+リス・ペクト(尊敬)の気持ちまでも言い表しているからだというのです。日本の各地には、針供養・筆供養・包丁供養などが有ります。役目を終えた道具を供養する習慣です。そして私達の身の回りにある物は元をただせば「自然から与えられたもの」です。その物が私達の手元に来るまでには、物をつくる方・加工する方・流通などに携わった多くの人の苦勞があるのです。食品という「物」についても農家の方や漁業の方の苦勞や料理をする方々などいるのです。こうした物の背後にある様々な恩恵を認識し、日々の努力をすることが、日々それらの恩恵を受けている者として認識して物を大切にしましょう。